

# 中村

発行 中村会（愛知県立中村高等学校同窓会）



夏の総会の1コマ

## 文化祭バザー

### 地域に広がる



夏の総会の1コマ

## 中村未来塾

## ボランティア清掃

### 過去から未来へ

会長 中村 允昭



この八月から同窓会の会長を仰せつかりました九回生の中村允昭と申します、よろしく申し上げます。前会長により「英気の泉」「中村未来塾」などの新しい事業が同窓会で始まり、今後どう活用するのか校長先生、PTA 会長さんをご相談しながらすすめていただくことが私の仕事かと思っております。

開校当時に比べれば毎年生徒は変わり、先生も変わり、半世紀も経てば社会も当然変わります。それでは校風はどうでしょうか。良い伝統が残って欲しいと思うのは私だけでしょうか。私がこの会長職をお受けしたのは当時の先生方にとってもお世話になったことが一番の理由です。在校当時顔を見るたびに先生方は私を励ましてくださいました。その先生方のお気持ちを大切に未来にお伝えするのも同窓生としての仕事かもしれません。

新役員の皆さんと一致団結して、学校・PTA と協力して、校歌にありますように「世界は広し 中村は 夢わくところ はてなきよろこび」中村高校でよかったと言える伝統を皆さんと守っていきたいと思います。どうぞご協力のほどお願いいたします。

### 後輩達に叱咤激励を！

校長 木村 好夫



前任の三宅正夫校長先生の後を継ぎました、木村好夫でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本校に赴任して、まず感動しましたことは、「昔も今も中村は」と謳われる本校の歴史と伝統の重みが発する気概と、そして、活発な同窓会と暖かい PTA 活動でした。こうした、力強い雰囲気と、暖かいご支援に包まれた生徒諸君が大変幸せに思いました。

学校の教育活動の柱は、授業、部活動、学校行事などですが、それらに外から活力を吹き込んでいただくのが、同窓会や PTA 活動であると思います。特に、同窓会には「中村未来塾」や、「英気の泉」基金による国際交流事業へのご支援等々、大変お世話になり、ありがとうございます。後の頁に本校より豪州メントン派遣について報告がありますのでご覧下さい。

こうした事業に感化されて、未来を切り開いて行く後輩達にさらにご支援をいただくと同時に、機会がありましたら是非、厳しいアドバイスもいただければと思います。お待ちしております。

# 53回総会・講演会・懇親会

平成20年8月17日(日) 於：ルブラ王山

## 【総会】



## 【講演会】



### テーマ 「宇宙にロマンを抱いて45年」

講師 北原政子さん(8回生)  
前名古屋市科学館プラネタリウム解説者

#### 【講演会感想】

夜空の星を見上げることがなくなって、もうどれ位でしょう。空が汚れ、肉眼で見える星が減ってしまいました。そして、時間や心のゆとりも。そんな折、総会で北原先輩の講演をきくチャンスにめぐまれました。

高校の天文同好会に始まり天文学の道をひとすじに歩んでこられた方です。名古屋市科学館に勤めながら、通信で学芸員の資格をとったり、昇進試験を受けたりと、学生時代だけでなく、関心が高まったと

きに勉強することの大切さを語って下さいました。また、宇宙のさまざまな現象を、多くの写真を交えながら、詳しくわかりやすく説明して下さいました。

2010年には、名古屋市科学館のプラネタリウムはリニューアルされて世界一になるそうです。その際は、子供たちを是非連れて行きたいと思います。心の底に忘れていたものを思い出した気持ちになる講演でした。先輩、ありがとうございました。

(34回生 山下路代)

#### 講演概要と講師紹介

北原さんは、中村高校8回生です。高校時代にお世話になった先生が、自分の人生を決める人になるとは当時は思わなかったそうです。まだできたばかりの「科学館」のプラネタリウム女性解説者となりました。

名古屋市職員になるために勉強を余儀なくされたこと、さらに学芸員資格や係長試験のために勉強をしたことなど、いつまでも勉強したことがある意味で大事だったことが話から伝わってきます。

講演で圧巻だったのは「日食」を見るために行った旅行先でとったビデオでした。本当に美しい日食でした。もっともっと話を聞きたい内容でした。

## 【懇親会】



経てばもう在校生でいられないのは寂しく感じましたが、新しい繋がりを得ました。その繋がりの中で私が在校生を応援する番になったのだと感じました。

中村の良き先輩方が創造してきた叡智の星座の星の一つになれたらと思い、これより一層の精進を誓った日でした。  
(53回生 星野岳洋)

## 中村高等学校同窓会総会に参加して

この春卒業し同窓会に初めて参加している中、私は色々と思いを巡らしていました。

私は在学中、頭が良いわけでも運動が出来る方でもなかったため、素直なだけ取り柄の平凡な末端生徒でした。そんな学校生活を刺激的なものにする機会を与えてもらったのが「中村未来塾」です。幸いにも私が入学した年から始められ、そこで私は中村の良き先輩方の行動力に多くの感銘を受け、学び、将来を考えるきっかけにすることが出来たと思います。私は、入学より多くの同窓生にお世話になり、励まされてきたと思います。今度は、私自身がそんな先輩の仲間入りをしました。時が

# 新しい企画 ワイン試飲会

— 楽しくなければ同窓会ではない —



講師 江崎基雄さん (26回生)

中村プロジェクトで若い人のつながりを深めてきましたが、まだまだ十分ではありませんでした。そこで、広報渉外部の高木副会長から同窓会の縦のつながりを深めようという新しい企画が発案され、その第1弾として10月18日(土)に

『ワイン試飲会』が行われました。

場所は名古屋駅前のレストランラウンジ「アスペルジュ」(キャッスルプラザホテル東側：イマージュ5階)です。

ただワインを飲むのではなく、ワインの話聞きながらワインの良さを楽しむ企画にしようとソムリエを呼んでの企画となりました。

ソムリエの江崎基雄氏(中村高校26回生：名古屋で有名なソムリエです)から「ワインの味わい別の楽しみ方」という話を聞きながら、いろいろなワインを試飲しました。

参加者は16人(男11人、女5人)、26回生の人が一番多かったです。

目の前に並べられたワイングラスは4つ輝いています。赤2本、白2本の試飲です。

まずは白ワインです。同じ白でも色や香りのちがうことがわかります。タルの香り移っているものは、飲みやす

く感じます。

赤ワインは、白よりももっと香りがたちます。味は、しぶみが口の中に広がり、後から甘さがでてきます。

和気あいあい、笑い声のたえない試飲会です。

参加した人は「お酒が飲めるなら」とうれしそうにしゃべっている人や「手ぶらはなんですか」とワインを持参してきた人もいました。

おつまみを食べながら飲み出すと味がまた変わります。赤のしっかりした味のワインがぐいぐい入っていきます。

後半は、質問コーナーのようになり、聞きたいことを直接聞くことができました。

みんなポツと赤い顔になっていい気分で帰ることができました。



同窓会は「楽しくなければ同窓会ではない」を合言葉に、今後も様々な楽しい企画を考えていきたいと思ひます。みなさまのご参加をお待ちしています。詳しくはHPをご覧ください。

## 国際交流活動報告

### 豪州メントン派遣

7月26日、私はこれから3週間への期待と不安を持って飛行機に乗りました。香港経由で豪ビクトリア州のメントンに着いたのは翌日の朝。とても緊張しながらホストファミリーに会いました。私のホストファミリーは4人家族で、みんなすごく優しく、不安だった気持ちもなくなりました。7月28日からはMGSCというメントンの学校へバディーと一緒に通いました。日本とは全く違って、毎日発見することがたくさんあり、本当に楽しかったです。日本語の授業ではけっこう難しい内容を勉強していたし、他の授業でも毎日たくさんの宿題があるようで、私は日本人よりもオーストラリア人の方がずっと勉強熱心だと感じました。学校ではたくさんの友達ができ、「Hello!」「こんにちは!」と挨拶をしてくれます。親しくなった子とはハグをすることもあり、とてもうれしかったし、初対面の人と話すきっかけにもなり、挨拶は本当にいいものだな、と思いました。



私は今回オーストラリアへ行って、たくさんの人々の優しさや暖かさに触れることができました。学校内だけでなく、電車やバスの中、店員さんなど、みんないつでも当たり前のように笑顔で挨拶してくれるし、困っている時も親切に声をかけてくれます。バディーの子が「オーストラリアの人はフレンドリーだよ。」と言っていました。私は「フレンドリー」とは優しさや暖かさ、人への思いや

りの気持ちがある人のことだと実感し、とても素敵な言葉だな、と思いました。そして何よりも暖かさを感じたのがホストファミリーです。家族の一員として受け入れてくれ、いつでも私の事を気にかけてくれたホストファミリーのおかげで本当にたくさんの思い出をつくることができました。伝え切れないほどの感謝の気持ちでいっぱいです。



オーストラリアで過ごした3週間はあっという間だったけど、たくさんの事にチャレンジし、たくさんの事を学びました。これからもホストファミリーやオーストラリアの友達と連絡を取り合い、もっと英語を勉強して将来またみんなに会いに行けるようになりたいです。

(1年 野村こはる)

### オーストラリア訪問日程

月	日	曜	行事など
7	26	土	午前名古屋発、香港経由、翌日メルボルン着
8	1	金	Japan Day 日本の文化を紹介した。
	7	木	小学校を訪問。
	12	火	現地10年生と和食レストラン。
	13	水	本校校長・PTA会長がメントン訪問。
	15	金	お別れ会、ダンスパーティー
	17	日	メルボルン発香港経由、夜名古屋着。

## 部活動紹介

### ■女子バレーボール部「モットーはあきらめないこと」

私たち女子バレー部は、2年6人、1年6人と少なめですが、毎日頑張って練習しています。練習日は毎日、日曜日に練習試合を組むこともよくあります。目標は県大会へ進出することです。しかし2回戦の壁が高く、簡単ではありません。練習や試合でのモットーはあきらめないことです。ノータッチでボールを床に落とさないよう努力することをみんなで声を掛け合って練習しています。(男子バレーは2年5人、1年10人で活動しています。)



### ■演劇部「目指せ中部大会」

我が演劇部は、秋なのに新入部員が入って現在12名で活動しています。主な活動内容は、発声や題目だけを決めてすぐ演技をするエチュード、動きだけで相手に伝えるサイレントなどの練習をしています。活動日は基本的には毎日です。大会前になると、休みの日にもずっと練習なので、体力勝負になりますが、やりがいがあってとても楽しい部活です。



## 職員の人事異動

今年春の異動は次のとおりです。(敬称略)

### 【ご退職】

三宅 正夫(校長) 3年間 名大講師  
鎌田 文二(英語) 9年間 犬山高校で再任用  
加藤 富美恵(実習助手) 38年間 津島高校で再任用  
長尾 良子(養護教諭) 21年間  
加納 賢治(国語) 1年間 千種高校で再任用  
鈴木 顕三(音楽) 1年間 東郷高校で再任用

### 【ご転出】

永井 孝典(教頭・理科) 2年間 小牧南高校校長へ  
村上 和弥(保健体育) 11年間 旭丘高校へ  
小島 康夫(数学) 9年間 一宮西高校へ  
大岩 洋司(日本史) 7年間 名古屋南高校へ  
田川 誠(保健体育) 7年間 名南工業高校へ  
浜島 紀明(事務長) 1年間 美和高校へ  
都竹 達夫(主任) 3年間 明和高校へ

## 第7回 和菓子と私

平成19年10月20日 中村高校

山本益司氏 (29回生)  
(菓子処松葉堂 店主)



今回は初めて実習をメインに調理室で行われました。黄赤緑の三色の餡を使って、まずは練りきりに挑戦しますが、参加者は悪戦苦闘。その横で山本氏は見事な手際の良さで見本を次々に作り上げていきます。鉄板を使ったどら焼きでは、市販のどら焼きに寸分違わぬきつね色の皮が焼け上がり、一同から思わず拍手がわき起こりました。やはり参加者が挑戦してみるのですが、上手にはいきません。出来たてアツアツのどら焼きの美味しいことと言ったら。栗きんとんがお土産について実習費300円でよかったのかと心配になるほどの充実した実習でした。

話題になった食品の偽装問題にも同業者からの視点でお話を頂き、食品業界の苦勞も垣間見られました。後片付けまで参加者全員で行い、自作の饅頭の入った菓子折を提げて満足そうでした。

## 第8回 僕たちの音楽ビジネス 平成20年2月2日 中村高校 桑原宏司氏 (15回生) (チケットぴあ名古屋 代表取締役社長)



「アマチュアバンドのドラマーとしてスタートし、72年にはチェリッシュのメンバーとしてデビューも果たしたが、一流ドラマーの演奏を見て、自分はプロではとても食っていけないと考えていた。そんな僕がなぜ音楽にずっと携わってきたかといえば、チェリッシュのメンバーだった奥山敬造氏との出会いがあったからだ。その彼と一緒にサンデーフォークプロモーションを立ち上げることにした。だから、君たち若者には出会いを大切にしてほしい。いろんな人との出会いによって、尊敬できる人に巡り会えたことが僕の人生の宝になった。」

当時の芸能界とはひと味違う音楽ビジネスを構築したサンデーフォークプロモーションの草創期の苦勞や、「チケットぴあ」・「ZIP-FM」の話などを熱く語られました。最後に、桑原氏は今後のライフワークとして音楽文化の地産地消を名古屋の地で進めてゆきたいと抱負を語ってくれました。

## 第9回 「チャンスは誰にでも」 平成20年10月31日 中村高校 内藤洋子氏 (14回生) (エッセイスト)



両親は健康でしたが、父に続いて母が高1の時に倒れました。きっと治ると信じていたのに翌年5月に死んでしまい、泣く余裕すらありませんでした。近所の人たちの助けもあって、金物屋を続けましたが、高校は1年間休学。同級生のおばあさんが卒業までの2年間手伝ってくれたことで、なんとか復学・卒業することが出来ました。しかしスーパーが金物屋の経営を圧迫、建物・土地を売ることでなんとか切り抜けるしかありませんでした。弟は野球が大好きで、プロ野球選手が夢でした。大学では愛知六大学で優勝、最優秀選手になりましたが、実業団の勧誘はくるのにプロのドラフトにはかかりません。しかし高校の恩師のおかげで、中日ドラゴンズにぎりぎり入団できました。

私は結婚した後に書いた『わがふるさと平野金物店』で物書きデビュー。みなさん、どんな境遇でもなりたいたいものに絶対なれます。夢をあきらめないでください、すばらしい人生を！(未来塾初、平日に体育館で、1年生全員対象に行われました。)

### 平成19年度 中村会決算報告

収入の部 (単位: 円)			
科目	予算額	決算額	過不足額
前年度繰越金	2,713,934	2,713,934	—
入会金	1,224,000	1,220,000	△4,000
寄付金		—	—
雑収入	2,066	45,557	43,491
計	3,940,000	3,979,491	39,491

支出の部 (単位: 円)				
科目	予算額	決算額	残額	
事業費	100,000	30,000	70,000	
広報費	HP運営費	200,000	129,399	70,601
	通信費	700,000	524,827	175,173
	会報費	250,000	239,925	10,075
総務管理費	総会施設費	100,000	45,256	54,744
	名簿管理費	150,000	145,904	4,096
雑費	諸雑費	20,000	—	20,000
	慶弔費	35,000	—	35,000
	会議費	20,000	—	20,000
予備費	100,000	—	100,000	
周年事業積立金	300,000	300,000	—	
繰越金	1,965,000	—	1,965,000	
計	3,940,000	1,415,311	2,524,689	

残高の部 (単位: 円)			
一般会計	収入済額	支出済額	次期繰越金
	3,979,491	1,415,311	2,564,180
周年事業積立金	収入済額	支出済額	残高
	300,000	0	300,000

### 平成20年度 中村会予算案

収入の部 (単位: 円)			
科目	予算額	19年度	増減額
前年度繰越金	2,564,180	2,713,934	-149,754
入会金	1,232,000	1,224,000	8,000
寄付金		0	0
雑収入	3,820	2,066	1,754
周年事業積立金	300,000	0	300,000
計	4,100,000	3,940,000	160,000

支出の部 (単位: 円)				
科目	予算額	19年度	増減額	
事業費	100,000	100,000	0	
広報費	HP運営費	200,000	200,000	0
	通信費	700,000	700,000	0
	会報費	250,000	250,000	0
総務管理費	総会施設費	100,000	100,000	0
	名簿管理費	150,000	150,000	0
雑費	諸雑費	20,000	20,000	0
	慶弔費	35,000	35,000	0
	会議費	20,000	20,000	0
予備費	100,000	100,000	0	
周年事業積立金積金	300,000	0	300,000	
周年事業積立金	300,000	300,000	0	
繰越金	1,825,000	1,965,000	△140,000	
計	4,100,000	3,940,000	160,000	

会計監査 松本 良平 ㊞  
会計監査 杉本みち子 ㊞